

3-6-8.給与項目説明一覧表

①勤務項目説明一覧表

項目タイプ	項目名称	標準設定	説明	賃金管理データ移送先
AA	ユーザー任意設定	毎回入力	勤務項目を自由に設定する。標準では給与月例データ入力での入力項目になる。	-----
BA	所定労働日数	自動設定	個人基本情報・個人給与情報・所定労働時間設定を反映する。事業所年平均所定労働日数・当月実所定・本人所定の内から、選択された所定労働日数が自動的にセットする。	所定労働日数
BB	所定労働時間数	自動設定	個人基本情報・個人給与情報・所定労働時間設定を反映する。事業所年平均所定労働時間数・当月実所定・本人所定の内から、選択された所定労働時間数が自動的にセットする。	所定労働時間数
BC	出勤日数	毎回入力	通常月例データ入力画面で入力する項目。	労働日数
BD	労働時間数	毎回入力	通常月例データ入力画面で入力する項目。単位は「時間+分」として下さい。	労働時間数
BE	1日所定労働時間	自動設定	事業所基本情報に登録された1日労働時間数、又は本人所定の場合は個人基本情報に登録された1日労働時間数がセットされる。	-----
BF	当月実所定日数	-----	事業所基本情報に登録された当月所定日を表示する。表示のみで計算には影響しない。	
BG	当月実所定時間	-----	事業所基本情報に登録された当月所定時間を表示する。表示のみで計算には影響しない。	
BH～ BN	出勤日数2～5 (日給単価用)	毎回入力	日給単価2～5 (BH～BN) と連動して、出勤2～5手当 (BH～BN) を算出する。	労働日数
BI～ BO	労働時間2～5 (時給単価用)	毎回入力	時給単価2～5 (BI～BO) と連動して、出勤2～5手当 (BI～BO) を算出する。	労働時間数
BV	事業所所定日数(表示 専用)	-----	事業所基本情報に登録された年所定日を表示する。表示のみで計算には影響しない。	
BW	事業所所定時間(表示 専用)	-----	事業所基本情報に登録された年所定時間を表示する。表示のみで計算には影響しない。	
BX	事業所1日所定時間 (表示専用)	-----	事業所基本情報に登録された1日所定時間を表示する。表示のみで計算には影響しない。	
CA	早出残業時間	毎回入力	早出残業単価 (CA) と連動して早出残業手当 (CA) を算出する。	早出残業時間数
CB	残業時間	毎回入力	残業単価 (CB) と連動して残業手当 (CB) を算出する。	早出残業時間数
CC	早出時間	毎回入力	早出単価 (CC) と連動して早出手当 (CC) を算出する。	早出残業時間数
CD	深夜残業時間	毎回入力	深夜残業単価 (CD) と連動して深夜残業手当 (CD) を算出する。	早残時間数or深夜労働
CE	深夜労働時間	毎回入力	深夜労働単価 (CE) と連動して深夜労働手当 (CE) を算出する。	深夜労働時間数
CF	休日出勤時間	毎回入力	休日出勤単価 (CF) と連動して休日出勤手当 (CF) を算出する。	休日労働時間数
CG	休日出勤日数	毎回入力	精皆勤単価・精皆勤テーブルと連動して精皆勤手当を算出することができる。	休日労働日数
CH	法定休日出勤時間	毎回入力	法定休出単価 (CH) と連動して法定休出手当 (CH) を算出する。	休日労働時間数
CI	法定休日出勤日数	毎回入力	精皆勤単価・精皆勤テーブルと連動して精皆勤手当を算出することができる。	休日労働日数
CJ	所定休日出勤時間	毎回入力	所定休出単価 (CJ) と連動して所定休出手当 (CJ) を算出する。	休日労働時間数
CK	所定休日出勤日数	毎回入力	精皆勤単価・精皆勤テーブルと連動して精皆勤手当を算出することができる。	休日労働日数

CM	時間外時間1	毎回入力	名称は自由に設定。時間外単価(CM)と連動して時間外手当1(CM)を算出する。	早出残業時間数
CN	時間外時間2	毎回入力	名称は自由に設定。時間外単価(CN)と連動して時間外手当2(CN)を算出する。	早出残業時間数
CO	時間外時間3	毎回入力	名称は自由に設定。時間外単価(CO)と連動して時間外手当3(CO)を算出する。	早出残業時間数
CP	時間外時間4	毎回入力	名称は自由に設定。時間外単価(CP)と連動して時間外手当4(CP)を算出する。	早出残業時間数
CQ	時間外時間5	毎回入力	名称は自由に設定。時間外単価(CQ)と連動して時間外手当5(CQ)を算出する。	早出残業時間数
CR	超過割増残業時間	毎回入力	超過割増残業単価(CR)と連動して超過割増残業手当(CR)を算出する。	-----
CS	超過割増残業時間2	毎回入力	超過割増残業単価(CS)と連動して超過割増残業手当(CS)を算出する。	-----
CT	超過割増残業時間3	毎回入力	超過割増残業単価(CT)と連動して超過割増残業手当(CT)を算出する。	-----
CU	超過割増残業時間4	毎回入力	超過割増残業単価(CU)と連動して超過割増残業手当(CU)を算出する。	-----
CX	その他時間外労働	毎回入力	計算式を設定して時間外手当を算出する場合に使用。自動的に計算は行わない。 同じ項目タイプの勤務項目を複数設定することが可能。	-----
DA	欠勤日数	毎回入力	欠勤単価と連動して欠勤控除(DA)を算出する。	欠勤日数
DB	遅刻早退外出時間	毎回入力	遅早単価と連動して遅刻早退外出控除(DB)を算出する。	遅刻早退時間数
DC	遅刻早退外出回数	毎回入力	精皆勤単価・精皆勤テーブルと連動して精皆勤手当を算出することができる。	-----
DD	遅刻早退時間数	毎回入力	遅早単価と連動して遅刻早退控除(DD)を算出する。	遅刻早退時間数
DE	遅刻早退回数	毎回入力	精皆勤単価・精皆勤テーブルと連動して精皆勤手当を算出することができる。	-----
DF	遅刻時間数	毎回入力	遅早単価と連動して遅刻控除(DF)を算出する。	遅刻早退時間数
DG	遅刻回数	毎回入力	精皆勤単価・精皆勤テーブルと連動して精皆勤手当を算出することができる。	-----
DH	早退時間数	毎回入力	遅早単価と連動して早退控除(DH)を算出する。	遅刻早退時間数
DI	早退回数	毎回入力	精皆勤単価・精皆勤テーブルと連動して精皆勤手当を算出することができる。	-----
DJ	外出時間数	毎回入力	遅早単価と連動して外出控除(DJ)を算出する。	遅刻早退時間数
DK	外出回数	毎回入力	精皆勤単価・精皆勤テーブルと連動して精皆勤手当を算出することができる。	-----
DM	無給休暇1	毎回入力	欠勤単価と連動して無給休暇控除1(DM)を算出する。	特別休暇日数
DN	無給休暇2	毎回入力	欠勤単価と連動して無給休暇控除2(DN)を算出する。	特別休暇日数
DO	無給休暇3	毎回入力	欠勤単価と連動して無給休暇控除3(DO)を算出する。	特別休暇日数
DX	その他不労	毎回入力	計算式を設定して不労控除を算出する場合に使用。自動的に計算は行わない。 同じ項目タイプの勤務項目を複数設定することが可能。	-----
EA	通勤回数	毎回入力	通勤回数に応じた通勤手当を支給する場合にここに通勤回数を入力することにより 通勤手当額を定めることができる。	-----
FA	宿日直回数	毎回入力	宿日直単価(FA)と連動して宿日直手当(FA)を算出する。	-----
FB	宿日直回数1	毎回入力	宿日直単価1(FB)と連動して宿日直手当1(FB)を算出する。	-----
FC	宿日直回数2	毎回入力	宿日直単価2(FC)と連動して宿日直手当2(FC)を算出する。	-----
FD	宿日直回数3	毎回入力	宿日直単価3(FD)と連動して宿日直手当3(FD)を算出する。	-----
FE	宿日直回数4	毎回入力	宿日直単価4(FE)と連動して宿日直手当4(FE)を算出する。	-----
FF	宿日直回数5	毎回入力	宿日直単価5(FF)と連動して宿日直手当5(FF)を算出する。	-----
FG	宿日直回数6	毎回入力	宿日直単価6(FG)と連動して宿日直手当6(FG)を算出する。	-----
FH	宿日直回数7	毎回入力	宿日直単価7(FH)と連動して宿日直手当7(FH)を算出する。	-----
FI	宿日直回数8	毎回入力	宿日直単価8(FI)と連動して宿日直手当8(FI)を算出する。	-----
FJ	宿日直回数9	毎回入力	宿日直単価9(FJ)と連動して宿日直手当9(FJ)を算出する。	-----
GA	食事回数	毎回入力	食事手当単価(GA)と連動して食事手当(支給GA)を算出する。 食事代単価(GC)と連動して食事代(控除GC)を算出する。	-----

GB	夜食回数	毎回入力	夜食手当単価（GB）と連動して夜食手当（支給GB）を算出する。 夜食代単価（GD）と連動して夜食代（控除GD）を算出する。	-----
HA	有給休暇取得日数	毎回入力	日給・時間給者の有休手当の自動計算が可能。 月例データ入力により、個人有休残日数の更新が可能。	有給休暇日数
HB	有休休暇取得時間数	毎回入力	日給・時間給者の有休手当の時間単位の自動計算が可能 月例データ入力により、個人有休残日数の更新が可能。	有給休暇時間数
HC	特別休暇取得日数	毎回入力	日給・時間給者の特休手当の自動計算が可能。	特別休暇日数

②単価・基礎項目説明一覧表

項目タイプ	項目名称	標準設定	説明	賃金管理データ移送先
AA	ユーザー任意設定	個人固定	手当を計算するための単価項目や計算式の1項目として使用する基礎項目を自由に設定する。標準では個人固定として「個人固定値設定」画面で個人毎に値を登録して使用する。手当を算出するためには支給項目上で計算式の設定が必要。	-----
BA	基本給	自動設定	個人基本情報に登録されている基本給がそのままセットされる。 (日給者は1日当たり、時間給者は時間当たりの金額)	-----
BC	1日当り基本給	自動設定	月給・日給・時間給に関わらず基本給を1日当りの金額にした値がセットされる。	-----
BD	時間当り基本給	自動設定	月給・日給・時間給に関わらず基本給を時間当りの金額にした値がセットされる。	-----
BF	給与当月月度	自動設定	該当の給与計算の給与月度がセットされる。	-----
BG	給与当月年度	自動設定	該当の給与計算の給与年度がセットされる。	-----
BH~ BN	出勤日数2~5 (日給単価)	個人固定	勤務の同一項目タイプと連動し支給の同一項目タイプの手当を算出する。 支給に同一項目タイプ手当がない場合は、基本給(BA)に加算される。	-----
BI~ BO	労働時間2~5 (時給単価)	個人固定	勤務の同一項目タイプと連動し支給の同一項目タイプの手当を算出する。 支給に同一項目タイプ手当がない場合は、基本給(BA)に加算される。	-----
BX	給与区分	自動設定	個人基本情報に登録された所定区分がセットされる。 (1:月給 2:月給日給 3:日給 4:時間給)	-----
BY	所定区分	自動設定	個人基本情報に登録された所定区分がセットされる。 (1:事業所年平均所定, 2:事業所当月実所定, 3:本人所定)	-----
BZ	雇用形態	自動設定	個人基本情報に登録された雇用形態がセットされる。 (1:正社員, 2:パート, 3:アルバイト, 4:臨時, 5:季節的雇用, 6:嘱託, 7:契約社員, 9:その他)	-----
CA	早出残業単価	自動設定	割増率を設定することにより、時間外基礎単価×割増率%の金額がセットされる。 勤務の同一項目タイプと連動し支給の同一項目タイプの時間外手当を算出する。 (早出残業手当(CA) = 早出残業時間(CA) × 早出残業単価(CA))	-----
CB	残業単価	自動設定	割増率を設定することにより、時間外基礎単価×割増率%の金額がセットされる。 勤務の同一項目タイプと連動し支給の同一項目タイプの時間外手当を算出する。	-----
CC	早出単価	自動設定	//	-----
CD	深夜残業単価	自動設定	//	-----
CE	深夜労働単価	自動設定	//	-----
CF	休日出勤単価	自動設定	//	-----
CH	法定休日出勤単価	自動設定	//	-----
CJ	所定休日出勤単価	自動設定	//	-----

CM	時間外単価1	自動設定	//	-----
CN	時間外単価2	自動設定	//	-----
CO	時間外単価3	自動設定	//	-----
CP	時間外単価4	自動設定	//	-----
CQ	時間外単価5	自動設定	//	-----
CR	超過割増残業単価	自動設定	//	-----
CS	超過割増残業単価2	自動設定	//	-----
CT	超過割増残業単価3	自動設定	//	-----
CU	超過割増残業単価4	自動設定	//	-----
CV	前月時間外基礎単価	自動設定	前月の時間外基礎単価が自動的にセットされる。	-----
CW	当月時間外基礎単価	自動設定	当月の時間外基礎単価が自動的にセットされる。	-----
CX	その他時間外単価	計算式	計算式を設定して時間外手当を算出する場合に使用。自動的に計算は行わない。 同じ項目タイプの勤務項目を複数設定することが可能。	-----
CY	深夜労働基礎単価	自動設定	前月の深夜労働単価（25%）で計算したいときに、設定する単価となる。これを設定すると月給でも、深夜労働単価で計算する場合、深夜労働手当が計算される。	-----
C1Y	前月深夜労働基礎単価	自動設定	前月の深夜労働単価が自動的にセットされる。	-----
C2Y	当月深夜労働基礎単価	自動設定	当月の深夜労働単価が自動的にセットされる。	-----
CZ	時間外基礎単価	自動設定	支給・単価基礎項目で「時間外基礎単価対象区分」を『対象』とした項目の金額が合計され、時間当たりの単価としてセットされる。時間外の100%単価として時間外単価の基礎として使用し、それぞれの時間外単価に割増率を設定して使用する。	-----
DU	前月欠勤単価	自動設定	前月の欠勤単価が自動的にセットされる。	-----
DV	当月欠勤単価	自動設定	当月の欠勤単価が自動的にセットされる。	-----
DW	前月遅早単価	自動設定	前月の遅早単価が自動的にセットされる。	-----
DX	当月遅早単価	自動設定	当月の遅早単価が自動的にセットされる。	-----
DY	欠勤控除単価	自動設定	支給・単価基礎項目で「不就労基礎単価対象区分」を『対象』とした項目の金額が合計され、時間当たりの単価としてセットされる。 時間当たりの単価か1日当たりの単価かを選択できる。 ・日給月給者 基本給と月額手当の1日分（または1時間分）	-----
DZ	遅早控除単価	自動設定	支給・単価基礎項目で「不就労基礎単価対象区分」を『対象』とした項目の金額が合計され、時間当たりの単価としてセットされる。 ・日給月給者 基本給と月額手当の1時間分 ・日給者 基本給と月額手当の1時間分	-----
EA	通勤手当額	自動設定	個人基本情報に登録された通勤手当額がセットされる。 毎月給与支給 : 通勤手当月額 一括現物支給 : 1月当たりの支給額 一括給与支給 : 一括の支給額(複数月分)	-----

			通勤回数より : 通勤一回分の通勤手当単価	
EB	通勤手当上限額 (回数で算出時)	体系固定	通勤回数で算出する人の上限額がセットされる。	-----
ED	通勤手当区分	自動設定	個人基本情報に登録された通勤手当区分がセットされる。 0:なし、 1:毎月給与支給、 2:一括現物支給 3:一括給与支給、 4:通勤回数より算出	-----
EE	通勤手当支給月数	自動設定	通勤手当区分が一括現物支給又は一括給与支給の場合にその月数がセットされる。	-----
EF	通勤手当支給開始月	自動設定	通勤手当区分が一括給与支給の場合にその支払月の内年最初の月がセットされる。	-----
EG~ EJ	第2~3通勤手当額	個人固定	個人固定値に登録された通勤手当額がセットされる。(一括給与支給専用)	
EH~ EK	第2~3通勤手当 支給月数	個人固定	個人固定値に登録された通勤手当支給月数がセットされる。(一括給与支給専用)	
EI~ EL	第2~3支給開始月	個人固定	個人固定値に登録された通勤手当支給開始月がセットされる。(一括給与支給専用)	
FA	宿日直単価	体系固定	勤務の同一項目タイプと連動し支給の同一項目タイプの宿日直手当を算出する。 (宿日直手当(FA) = 宿日直回数(FA) × 宿日直単価(FA))	-----
FB	宿日直単価1	体系固定	勤務の同一項目タイプと連動し支給の同一項目タイプの宿日直手当を算出する。	-----
FC	宿日直単価2	体系固定	//	-----
FD	宿日直単価3	体系固定	//	-----
FE	宿日直単価4	体系固定	//	-----
FF	宿日直単価5	体系固定	//	-----
FG	宿日直単価6	体系固定	//	-----
FH	宿日直単価7	体系固定	//	-----
FI	宿日直単価8	体系固定	//	-----
FJ	宿日直単価9	体系固定	//	-----
GA	食事手当単価	体系固定	食事回数(勤務GA)と連動して食事手当(支給GA)を算出する。	-----
GB	夜食手当単価	体系固定	夜食回数(勤務GB)と連動して夜食手当(支給GB)を算出する。	-----
GC	食事代単価	体系固定	食事回数(勤務GA)と連動して食事代(控除GC)を算出する。	-----
GD	夜食代単価	体系固定	夜食回数(勤務GB)と連動して夜食代(控除GD)を算出する。	-----
IA	精皆勤手当単価	体系固定	精皆勤テーブルと連動して精皆勤手当を算出する。	-----
IB	手当対象家族人数	自動設定	個人基本情報に登録されている家族手当対象の家族全人数。	-----
IC	手当対象配偶者	自動設定	個人基本情報に登録されている家族手当対象配偶者がいる場合は1、いない場合は0。	-----

I D	手当対象子供人数	自動設定	個人基本情報に登録されている家族手当対象の子供の人数。	-----
I E	手当対象親兄弟等	自動設定	個人基本情報に登録されている家族手当対象の配偶者・子供以外の人数。	-----
I F	税法上扶養人数	自動設定	個人基本情報に登録されている税法上の扶養人数。	-----
MA	健保標準報酬月額	自動設定	個人基本情報に登録されている適用月にそった健保標準報酬月額。	
MB	厚年標準報酬月額	自動設定	個人基本情報に登録されている適用月にそった厚年標準報酬月額。	
MC	健保控除有無	自動設定	0：無 1：有	
MD	介護控除有無	自動設定	0：無 1：有	
ME	厚年控除有無	自動設定	0：無 1：有	
MF	雇用控除有無	自動設定	0：無 1：有	
MG	健保料率（全体）	自動設定	共通情報管理—社会保険料率設定の全体の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
MH	健保料率（個人）	自動設定	共通情報管理—社会保険料率設定の個人の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
M I	健保料率（事業主）	自動設定	共通情報管理—社会保険料率設定の事業主の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
MJ	介護料率（全体）	自動設定	共通情報管理—介護保険料率設定の全体の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
MK	介護料率（個人）	自動設定	共通情報管理—介護保険料率設定の個人の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
ML	介護料率（事業主）	自動設定	共通情報管理—介護保険料率設定の事業主の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
MM	健組保険料率（全体）	自動設定		
MN	健組保険料率（個人）	自動設定		
MO	健組保険料率（事主）	自動設定		
MP	健組調整率（全体）	自動設定		
MQ	健組調整率（個人）	自動設定		
MR	健組調整率（事主）	自動設定		
MS	厚生年金料率（全体）	自動設定	共通情報管理—厚生保険料率設定の全体の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
MT	厚生年金料率（個人）	自動設定	共通情報管理—厚生保険料率設定の個人の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
MU	厚生年金料率（事主）	自動設定	共通情報管理—厚生保険料率設定の事業主の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
MV	基金掛金率（全体）	自動設定		
MW	基金掛金率（個人）	自動設定		
MX	基金掛金率（事主）	自動設定		
NA	支援金率（全体）	自動設定	共通情報管理—支援金料率設定の全体の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
NB	支援金率（個人）	自動設定	共通情報管理—支援金料率設定の個人の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
NC	支援金率（事主）	自動設定	共通情報管理—支援金料率設定の事業主の料率。指定金額の従業員も料率が表示される。	
Z A	前月給与区分	自動設定	前月度に設定されていた給与区分を自動的に設定する。	-----
Z B	前月基本給	自動設定	前月度に設定されていた給基本給を自動的に設定する。	-----
Z D	前月通勤手当区分	自動設定	前月度に設定されていた通勤手当区分を自動的に設定する。	-----
Z E	前月通勤手当	自動設定	前月度に設定されていた通勤手当額支給額を自動的に設定する。	-----
Z F	前月通勤手当単価	自動設定	前月度に設定されていた通勤手当単価額を自動的に設定する。	

③支給項目説明一覧表

項目タイプ	項目名称	標準設定	説明	賃金管理データ移送先
AA	ユーザー任意設定	個人固定	適当な項目名称を入力して、手当項目を自由に設定する。標準では個人固定値として設定されているので「個人固定値設定」画面で個人毎の金額を登録して使用する。	手当欄(その他手当合計)
BA	基本給	自動設定	個人基本情報に登録されている基本給を元に月額の基本給が自動的に算出される。日給者は基本給×出勤日数、時間給者は基本給×労働時間数となる。ここに、日給者・時間給者の有休手当、特休手当を含むことができる。	基本給
BB	第2基本給	個人固定	個人毎の個人固定値の設定により金額のセットができる。	手当欄or基本給の選択
BC	調整給	個人固定	個人毎の個人固定値の設定により金額のセットができる。	手当欄(その他手当合計)
BH~ BN	日給(2~5) 時給(2~5)	自動設定	「勤務の同一項目タイプ」×「単価基礎の同一項目タイプ」で手当額が算出される	
CA	早出残業手当	自動設定	「勤務の同一項目タイプ」×「単価基礎の同一項目タイプ」で手当額が算出される (早出残業手当(CA) = 早出残業時間(CA) × 早出残業単価(CA))	//
CB	残業手当	自動設定	「勤務の同一項目タイプ」×「単価基礎の同一項目タイプ」で手当額が算出される	//
CC	早出手当	自動設定	//	//
CD	深夜残業手当	自動設定	//	//
CE	深夜労働手当	自動設定	//	//
CF	休出手当	自動設定	//	//
CH	法定休出手当	自動設定	//	//
CJ	所定休出手当	自動設定	//	//
CL	時間外手当	自動設定	CA~CQまでの時間外手当の内、勤務・単価基礎項目にあり支給項目にない項目タイプの金額の合計をセットする。時間外手当合計として使用可能。	//
CM	時間外手当1	自動設定	「勤務の同一項目タイプ」×「単価基礎の同一項目タイプ」で手当額が算出される	//
CN	時間外手当2	自動設定	//	//
CO	時間外手当3	自動設定	//	//
CP	時間外手当4	自動設定	//	//
CQ	時間外手当5	自動設定	//	//
CR	超過割増残業手当	自動設定	//	//
CS	超過割増残業手当2	自動設定	//	//
CT	超過割増残業手当3	自動設定	//	//
CU	超過割増残業手当4	自動設定	//	//
CV	超過割増残業手当計	自動設定	CR~CUまでの超過割増残業手当のうち、勤務・単価基礎項目にあり支給項目にない項目タイプの金額の合計をセットする。	
CX	その他時間外手当	計算式	計算式を設定して時間外手当を算出する場合に使用。自動的に計算は行わない。同じ項目タイプの勤務項目を複数設定することが可能。	//
DA	欠勤控除	自動設定	欠勤日数(勤務DA)×欠勤単価で算出される。	不就労控除
DB	遅刻早退外出控除	自動設定	遅刻早退外出時間(勤務DB)×遅早単価で算出される。	//
DD	遅刻早退控除	自動設定	遅刻早退時間(勤務DD)×遅早単価で算出される。	//
DF	遅刻控除	自動設定	遅刻時間(勤務DF)×遅早単価で算出される。	//

DH	早退控除	自動設定	早退時間(勤務DH)×遅早単価で算出される。	//
DJ	外出控除	自動設定	外出時間(勤務DJ)×遅早単価で算出される。	//
DL	不就労控除	自動設定	DA~DOまでの不就労控除及び無給休暇の内、勤務・単価基礎項目にあり支給項目にない項目タイプの金額の合計をセットする。不就労控除合計として使用可能。	//
DM	無給休暇1控除	自動設定	無給休暇1(勤務DM)×欠勤単価で算出される。	//
DN	無給休暇2控除	自動設定	無給休暇2(勤務DN)×欠勤単価で算出される。	//
DO	無給休暇3控除	自動設定	無給休暇3(勤務DO)×欠勤単価で算出される。	//
DX	その他不就労控除	計算式	計算式を設定して不就労控除を算出する場合に使用。自動的に計算は行わない。同じ項目タイプの勤務項目を複数設定することが可能。	//
EA	通勤手当	自動設定	個人基本情報に登録された月額通勤手当をセットする。	手当欄(その他手当合計)
EB	通勤手当課税分	自動設定	勤務項目に「通勤手当(EA)」が存在する場合その課税分が金額がセットされる	-----
EC	通勤手当非課税分	自動設定	勤務項目に「通勤手当(EA)」が存在する場合その非課税分が金額がセットされる	-----
ED	通勤手当不就労控除額	自動設定	通勤手当を不就労控除の対象としている場合に、通勤手当の内、不就労控除される金額がセットされる。	-----
EE	通勤手当不就労控除後額	自動設定	通勤手当を不就労控除の対象としている場合に、通勤手当の内、不就労控除された後の金額がセットされる。	-----
EF	駐車場等の料金相当額	自動設定	1か月当たりの駐車場代をセットします。	手当欄(その他手当合計)
FA	宿日直手当	自動設定	「勤務の同一項目タイプ」×「単価基礎の同一項目タイプ」で手当額が算出される (宿日直手当(FA) = 宿日直回数(FA) × 宿日直単価(FA))	手当欄(その他手当合計)
FB	宿日直手当1	自動設定	「勤務の同一項目タイプ」×「単価基礎の同一項目タイプ」で手当額が算出される	//
FC	宿日直手当2	自動設定	//	//
FD	宿日直手当3	自動設定	//	//
FE	宿日直手当4	自動設定	//	//
FF	宿日直手当5	自動設定	//	手当欄(その他手当合計)
FG	宿日直手当6	自動設定	//	//
FH	宿日直手当7	自動設定	//	//
FI	宿日直手当8	自動設定	//	//
FJ	宿日直手当9	自動設定	//	//
GA	食事手当	自動設定	食事回数(勤務GA)×食事手当単価(単価基礎GA)で算出される。	//
GB	夜食手当	自動設定	夜食回数(勤務GB)×夜食手当単価(単価基礎GB)で算出される。	//
HA	有給休暇手当	自動設定	有休取得日数(勤務HA)と連動して金額を算出する 基本給に有休手当を含む設定になっている場合は、ここにはセットされない。	//
HC	特別休暇手当	自動設定	特休取得日数(勤務HC)と連動して金額を算出する 基本給に特休手当を含む設定になっている場合は、ここにはセットされない。	//
IA	精皆勤手当	自動設定	精皆勤単価(単価基礎IA)・精皆勤テーブルと連動して手当を算出する。	//
IB	家族手当	自動設定	個人基本情報に登録された家族手当対象人数と家族手当テーブルの設定により算出	//
ID	職位手当	自動設定	職位コードマスターに登録された金額と個人の職位コードによりセットされる。	//
IE	資格手当	自動設定	資格コードマスターに登録された金額と個人の資格コードによりセットされる。	//
IF	住宅手当	自動設定	住居コードマスターに登録された金額と個人の住居コードによりセットされる。	//
JA	諸手当	自動設定	1項目中に15の細分化項目を設定し、それぞれの値を個人毎に個人固定値設定画面で設定する	//

			ことにより、この手当額がセットされる。	
KA	労保算定不算入額	自動設定	支給項目の「労保算定基礎区分」が『対象外』になっている項目の金額合計。	労保不算入
KB	社保算定不算入額	自動設定	支給項目の「社保算定基礎区分」が『対象外』になっている項目の金額合計	社保不算入
LA	非課税通勤手当等	自動設定	通勤手当などの支給項目内の非課税額の合計をセットします。	非課税合計
LB	源泉支給額	自動設定	源泉所得税対象の支給額。「総支給額」－「非課税通勤手当等」がセットされる。	-----
OA	外交員報酬額	毎回入力	外交員報酬金額を毎月、月例データ入力画面で入力する。	手当欄(その他手当合計)
ZA	合計項目	計算式	小計・中計・大計の様な中間の合計欄を設けたいとき、この項目に計算式を設定する	-----
ZC	総支給額	自動設定	支給項目の合計が自動的にセットされる。	総支給額
ZD	差引支給額	自動設定	総支給額－控除額合計がセットされる。	差引支給額

※賃金管理データ移送先に「手当欄(その他手当合計)」となっている項目は項目番号の小さい順に18件が手当欄に移送され
それ以降の項目は「その他手当の合計」に合計して移送されます。

④控除項目説明一覧表

項目コード	項目名称	標準設定	説明	賃金管理データ移送先
AA	ユーザー任意設定	個人固定	適当な項目名称を入力して、控除項目を自由に設定する。標準では個人固定値として設定されているので「個人固定値設定」画面で個人毎の金額を登録して使用する。	控除欄(その他控除合計)
EA	前払通勤手当	自動設定	現物支給の通勤手当を相殺するために月額通勤手当がセットされる。	控除欄(その他控除合計)
GC	食事代	自動設定	食事回数(勤務GA)×食事代単価(単価基礎GC)で算出される。	控除欄(その他控除合計)
GD	夜食代	自動設定	夜食回数(勤務GB)×夜食代単価(単価基礎GD)で算出される。	控除欄(その他控除合計)
JA	諸控除	自動設定	1項目中に15の細分化項目を設定し、それぞれの値を個人毎に個人固定値設定画面で設定することにより、この控除額がセットされる。	控除欄(その他控除合計)
MA	健康保険料	自動設定	標準報酬月額と健保保険料率によって算出される。	健康保険料
MB	厚生年金保険料	自動設定	標準報酬月額と厚生年金保険料率によって算出される。	厚生年金保険料
MC	厚年基金保険料	自動設定	標準報酬月額と厚年基金保険料率によって算出される。	厚年基金保険料
MD	介護保険料	自動設定	個人基本情報の介護保険区分が『全額控除』『指定金額』になっている人のみ算出標準報酬月額と介護保険料率によって算出される。 健康保険料の項目設定で「介護保険料を含む」場合はここにはセットされない。	健康保険料
ME	雇用保険料	自動設定	個人基本情報の「雇用保険料区分」に応じた料率で保険料が算出される。	雇用保険料
MF	健保特定保険料	自動設定	参考表示用	
MG	子ども・子育て支援金	自動設定	標準報酬月額と子ども・子育て支援金料率によって算出される。	健康保険料
MU	健康保険料調整額	毎回入力	過去の徴収健康保険料を当月で調整する場合に月例データ入力で金額を入力する。	健康保険料
MV	厚年保険料調整額	毎回入力	過去の徴収厚年保険料を当月で調整する場合に月例データ入力で金額を入力する。	厚生年金保険料
MW	雇用保険料調整額	毎回入力	過去の徴収雇用保険料を当月で調整する場合に月例データ入力で金額を入力する。	雇用保険料
MX	社会保険料調整額	毎回入力	過去の徴収保険料を当月で調整する場合に月例データ入力で金額を入力する。	健康保険料
MY	子ども・子育て支援金調整額	毎回入力	過去の徴収子ども・子育て支援金を当月で調整する場合に月例データ入力で金額を入力する。	健康保険料
MZ	社会保険料合計	自動設定	健保・厚年・厚年基金・雇用の各保険料及びその調整額の合計金額がセットされる	社会保険料合計
NA	課税対象額	自動設定	「総支給額」－「非課税額」－「社会保険料合計」の値がセットされる。	-----
NB	源泉所得税	自動設定	源泉所得税が計算税率又は税額表により求められここにセットされる。	源泉所得税
NC	住民税	自動設定	個人基本情報に登録されている住民税がここにセットされる。	住民税
ND	年末調整額	自動設定	年末調整の還付欄。年末調整システムでこの項目に年末調整額を送り込む。	控除欄(その他控除合計)
NE	特別減税	自動設定	特別減税がある時、この項目に減税額がセットできる。	
NF	源泉所得税調整額	毎回入力	過去の徴収源泉所得税を当月で調整する場合に月例データ入力で金額を入力する。	源泉所得税
OA	外交員報酬所得税	自動設定	支給項目に設定された「外交員報酬金額」により計算された源泉所得税額がセット	源泉所得税
PA	個人型確定拠出年金	個人固定	確定拠出年金額を設定する。年末調整時に控除として自動的に反映される。	個人型確定拠出年金
ZA	合計項目	計算式	小計・中計・大計の様な中間の合計欄を設けたいとき、この項目に計算式を設定する	-----
ZC	控除合計	自動設定	控除項目の合計が自動的にセットされる。	控除額合計

※賃金管理データ移送先に「控除欄(その他控除合計)」となっている項目は項目番号の小さい順に2件が手当欄に移送され
それ以降の項目は「その他控除の合計」に合計して移送されます。